

冬場の凍結を防ぐ

※電気温水器、自動水栓・タッチレスウォール水栓は搭載品のみ

凍結予防には2通りの方法があります。凍結が予想されるときは、以下の処置を行いましょう！

- 商品が凍結すると機器が破損します。(水漏れの原因)
- 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- トイレ内は暖房などで、0℃以下にならないようにしてください。

流動方式

ハンドル式水栓

少量の水を流し続ける



水抜方式

水抜栓(他社製)を排水(水抜)側に切り替える

参照 操作方法について：水抜栓の取扱説明書

止水栓は開けたままにしてください。 **止水栓の開閉** P.11

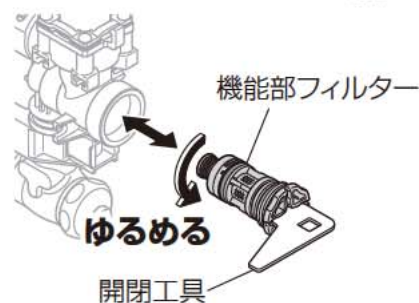
ハンドル式水栓

- 1 水栓を開ける(2～3分で水が抜ける)
- 2 水栓を閉める

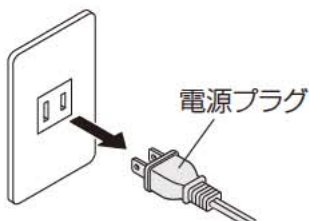
自動水栓・タッチレスウォール水栓 コントローラー別体形

- 1 センサーに手をかざして、吐水口から水が出ないことを確認する
- 3 機能部フィルターを開閉工具で外す(2～3分で水が抜ける)

※水がこぼれることがあるので、ぞうきんなどを用意してください。



- 2 水栓の電源プラグを抜く



- 4 機能部フィルターを取り付ける

⚠ 注意



必ず守る

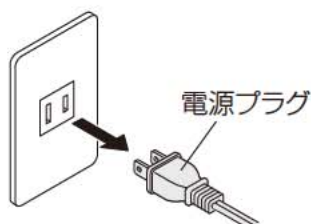
機能部フィルターは奥まで確実に取り付ける
機能部フィルターがきちんと取り付けいていない場合、
通水の際に水漏れにより家財などをぬらす財産損害
発生のおそれがあります。

自動水栓・タッチレスウォール水栓 コントローラー一体形

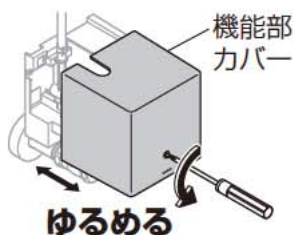
- ① センサーに手をかざして、吐水口から水が出ないことを確認する



- ② 水栓の電源プラグを抜く

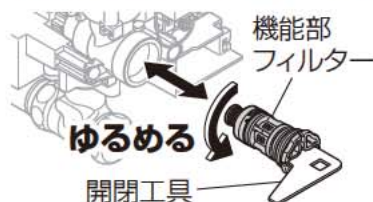


- ③ ネジを外し、機能部カバーを外す



- ④ 機能部フィルターを開閉工具で外す
(2～3分で水が抜ける)

※水がこぼれることがあるので、ぞうきんなどを用意してください。



- ⑤ 機能部フィルターを取り付ける

- ⑥ 機能部カバーを取り付ける

⚠ 注意



必ず守る

機能部フィルターは奥まで確実に取り付ける。機能部フィルターがきちんと取り付けしていない場合、通水の際に水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

長期間使わないとき

水抜き後、手洗器排水口に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
不凍液は、そのまま流さないでください。環境汚染などのおそれがあります。
手洗器ご使用前には、不凍液を回収し廃棄処理をしてください。

水抜き後の再通水

水抜き栓の取扱説明書の操作方法に従い、通水してください。

※配管や本体から水漏れしていないことを確認してください。

参照 電気温水器について：電気温水器の取扱説明書

トイレを長期間使わない場合

水抜き後、止水栓を閉める(水漏れを防ぎます)

止水栓の開閉 P.11